

拝啓 今年も早や12月下旬、年の暮れとなりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。この時期、家の垣根や近所の庭では、さざんかが咲いております。

今月は、モーク先生の第8回目をお送りします。今回からは、『エデンのかけ橋』という本からの引用になります。大正時代、戦前、戦後のモーク先生のバイブル・クラスの様子などが記述されています。

NHKテレビで、『坂の上の雲』を見ました。203高地、奉天会戦、日本海海戦など、よく描かれていると思いました。昔、『坂の上の雲』は、一生懸命読みました。南原先生の親友の坂田祐先生は、一高へ入る前は、陸軍の秋山好古の騎馬部隊に属していました。黒溝台、奉天会戦に参加したと、『恩寵の生涯』に一行だけ、書いてありますが、おそらく秋山支隊の一員として、大きな働きをされたのだと思います。

このエンカウンターは、2年ほど前から、友人の米倉安雄様のご推薦で、パソコンで見ることが出来るように、ウェブサイトに掲載して頂いております。過去のバックナンバーも、10号ずつほど、さかのぼって掲載していました。このほど、バックナンバーの掲載が、全部完了しました。この8年分の、エンカウンターを世界中のパソコンで見ることが出来るわけです。

これまでの掲載した本の題名を掲げてみますと、次の通りです。

ルツ・エルマー先生の文集、小西芳之助「主の御名を呼ぶ」、ビリー・グラハム「きょうのみことば」、パウロの手紙、内村鑑三「一日一生」、矢内原忠雄全集第17巻、南原繁著作集第10巻、新渡戸稲造「一日一言」、スポルジョン「朝ごとに」、L・B・カウマン「山頂を目ざして」、神谷美恵子「神谷美恵子著作集」、金田福一「日々の糧365日」、バジレア・シュリンク「愛のまなざし神の日ごとのよりどころ」、ウィリアム・バークレー「希望と信頼に生きるウィリアム・バークレーの一日一生」、ヒルティ「眼られぬ夜のために」、相沢良一「黒潮の神学」、「ミス・ローラ・モーク、その信仰生涯」

パソコンで、目次を眺めてみますと、壮観です。聖霊を受けるにはどうすればよいか、というような内容が多いように感じました。どうぞ皆様も、一度パソコンで、「エンカウンター」を開いて見て頂きたいと思います。そして、好きな本があれば、パソコンでご覧になるか、プリント・アウトして、ご覧ください。

間もなく新しい年を迎えます。どうぞ皆様良いお年をお迎え下さい。下さい。

平成23年12月26日

山口周三

エンカウンターの読者各位